

令和2年度第1回平塚市文化財保護委員会 会議録

日 時

令和2年2月9日(火)
午前10時から11時50分まで

場 所

平塚市役所本館7階
720(2)会議室

出席者 12人 [傍聴人 0人]

委 員：近藤委員長、吉田(英)副委員長、曾根委員、吉田(鋼)委員、曾根委員、
小川委員、鈴木委員

事務局：鈴木課長、若林課長代理、菅沼課長代理、中嶋課長代理、上原主管、柳川主事

(事務局) 挨拶、資料確認

1 報告事項

令和2・3年度の文化財保護事業について【公開】

- ・令和2年度の無形文化財保護事業、エコミュージアム推進事業、歴史建造物保存活用事業、文化財保護事業、ふるさと歴史再発見事業の実績と予定について資料をもとに報告し、承認された。また、令和3年度の事業についての予定を報告した。

2 協議事項

令和2・3年度の文化財指定等について【非公開】

- ・令和2・3年度の文化財の指定について事務局から現状の報告を行い、意見を伺った。

3 その他【公開】

以下の市指定文化財について、現状の報告を行い、修理の方法や時期について意見を伺った。

- ・芳盛寺所有の市指定文化財「紙本版摺着色 十二天像のうち十一天」所有者である芳盛寺より、紙本は緊急を要する状態というわけではないが、今後も状態を維持していくために保存処理がどの時期に必要な相談があったことを報告した。吉田(英)委員より、絹本や紙本は50年から100年に1回の間隔で修理をしていくと、その後の保存状態に違いが出てくる。芳盛寺所有の紙本が前回50年前のようなので、そろそろ時期に差し掛かっていると判断してもいいのではないかと意見をいただいた。
- ・正福寺所有の市指定文化財「木造 薬師如来立像」脚が折れていて、仏像が自立できていない状態にある。一度修理をし

た痕跡があるが、ぐらついている。非常にきれいな顔立ちの仏像で、令和2年に神奈川県立博物館で開催の「相模川流域のみほとけ」展で借用希望が上がったが、状態が悪いため貸し出すことができなかった経緯がある。また、正福寺の檀家が少なく廃寺にしたいという話も出ている中、田村にある妙楽寺が預かってもよいとの提案を受けていると報告した。

文化財の修復は計画的に進めていく必要がある。今後も所有者とのやり取りを継続する必要がある。信頼関係を作ってほしい。

- ・令和3年度は文化財保護委員の改選の時期である。
- ・次回の会議はコロナ感染者の状況を見つつ、開催時期を計ることとした。

以 上